



洗濯機用水栓

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、下記注意事項をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

禁止 してはいけない「禁止」を示します。

注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

分解禁止 「分解禁止」を示します。

施工上のご注意

注意

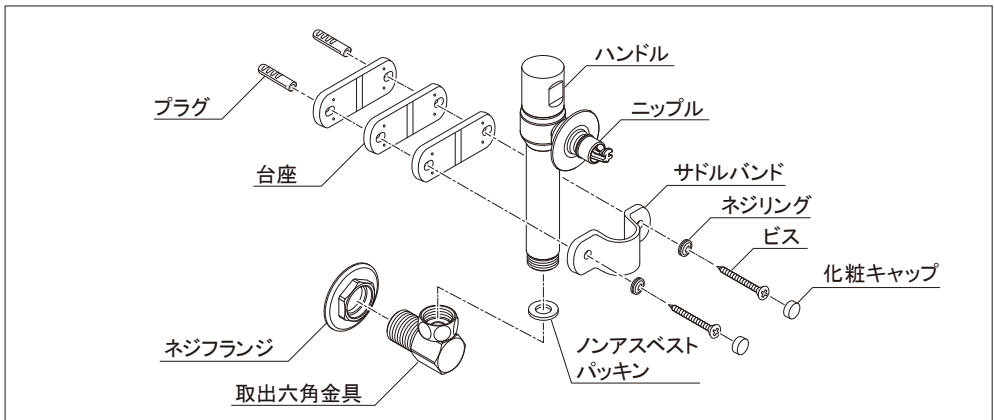
- 必ず実行**
 - 施工する際は軍手等をご使用ください。手指等にケガをする恐れがあります。
 - 配管内のゴミや砂等は完全に洗い流してください。
- 禁止**
 - 本品は上水道水用です。温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
 - 元止式湯沸器には使用しないでください。
 - 凍結の可能性がある場所には取付けないでください。凍結により破損する恐れがあります。
 - 製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。
- 注意**
 - 給水圧力が0.75MPaを超える場合は市販の減圧弁で減圧してください。

使用上のご注意

注意

- 必ず実行**
 - 洗濯機用給水ホースは必ず一般社団法人 日本電機工業会規格(JEM1206)に準拠した製品をご使用ください。規格外の製品の使用は漏水の原因となります。
 - 洗濯機用給水ホースを接続する際は必ず水栓のハンドルを閉じて吐水口内の圧力を抜いてから接続してください。
 - 接続する給水ホースは長さに余裕のあるものをご使用ください。ホースを無理に引っ張ったり、ねじれた状態で使用しないでください。
 - 洗濯機用給水ホースを接続する際は吐水口に直接正しく挿入してください。強引な挿入や他の部材を使用しての接続は吐水口が破損して漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。
 - 洗濯機を使用しないときは必ず水栓のハンドルを閉じてください。
 - 取出六角金具のナットは取付前後および定期的にゆるみがないかご確認ください。
 - 定期的に給水ホースやハンドルまわりに漏水・ガタつきがないかご確認ください。
- 禁止**
 - 本品は洗濯機用給水ホース以外には使用しないでください。
 - 50℃以上のお湯には使用しないでください。本品や使用している器具の破損や変形の原因となります。
 - ハンドルは無理な力でまわさないでください。取付け部分がゆるみ、漏水により家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。
 - 製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。
 - 逆流防止のため、逆流防止機能つきの器具をご使用ください。
- 分解禁止**
 - 分解・改造はしないでください。

分解図



* 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材がそろっていることをご確認ください。

分解図にあるものに加えて、
●シールテープ(1.0m) ●取扱施工説明書 ●下げ札
を同梱しています。

施工の前に

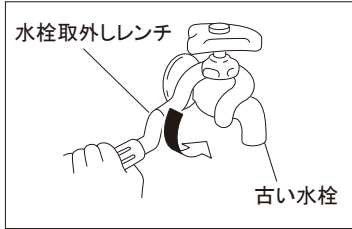
準備するもの



*施工時は左記に加えて、
●モンキーレンチ
をご準備ください。
*その他、施工に必要な配管部材等は別途ご準備ください。

1. 古い水栓本体を取外します。

元栓を閉じて取外作業を行ってください。



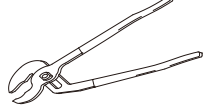
「水栓取外しレンチ」などで、古い水栓本体を反時計回りにゆっくりまわして取外します。
*壁内のザルボがゆるまないように、ご注意ください。ゆるんでしまった場合は、下記「●ザルボが外れた場合の対処方法」を参考に対処してください。

●ザルボが外れた場合の対処方法

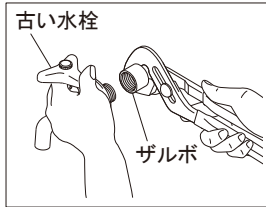
【作業に必要な工具】

●ウォーターポンププライヤー

●六角レンチ



六角レンチがある場合



①ザルボを「ウォーターポンププライヤー」などではさみ、古い水栓から取外します。

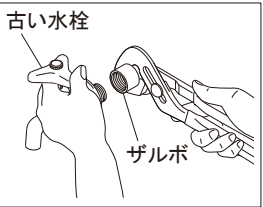


②ザルボネジ部のゴミを取除き、**施工方法** 1. 取出六角金具を壁に取付けます。を参考にザルボネジ部にシールテープを巻付けます。



③ザルボを壁にねじ込み、締付けます。

六角レンチがない場合



①ザルボを「ウォーターポンププライヤー」などではさみ、古い水栓から取外します。



②取出六角金具のネジ部にネジフランジを取付け、**施工方法** 1. 取出六角金具を壁に取付けます。を参考にシールテープを巻付けます。



③ザルボを「ウォーターポンププライヤー」などで取出六角金具のネジ部に取付けます。

④取出六角金具にザルボを取付けた状態で、**施工方法** にお進みください。

*この作業を行った場合、**施工方法** 文中の「取出六角金具のネジ部」は「ザルボのネジ部」となります。ご注意ください。



注意

●ザルボの取付けは、確実に行ってください。壁の中ですので、漏水が発生した場合の確認が困難になります。
●ネジで手をケガする恐れがありますので、十分ご注意ください。

2. ザルボ内のネジ部の掃除をします。



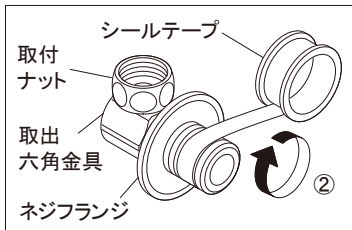
注意

ネジ部にシールテープや接着剤が残っていると、漏水や水栓の故障の原因となります。
必ずネジ部の掃除を丁寧に行ってください。

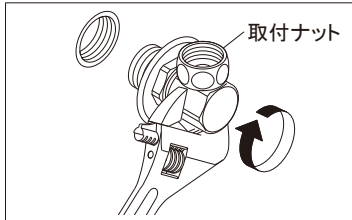
施工方法

数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉じて取付作業を行ってください。

1. 取出六角金具を壁に取付けます。



①取出六角金具をそのまま壁に取付け、取付ナットが真上を向く位置で取付できる時の取出六角金具の回転数を確認し記録しておきます。
②取出六角金具にネジフランジを取付け、片手で取出六角金具をしっかりと握り、もう片方の手で取出六角金具のネジ部にシールテープをあてます。そのまま軽く引っ張りながら時計回りに7～8回、ネジ部全体に均等になるように巻付けます。巻終えたら、シールテープを引きちぎります。

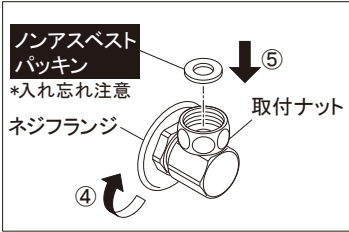


③壁に取出六角金具を、①であらかじめ確認した取付回転数より1回少ない回転数まで時計回りにまわして、取付ナットを締付けます。

裏面へ続く➡

施工方法(つづき)

1. 取出六角金具を壁に取付けます。(つづき)

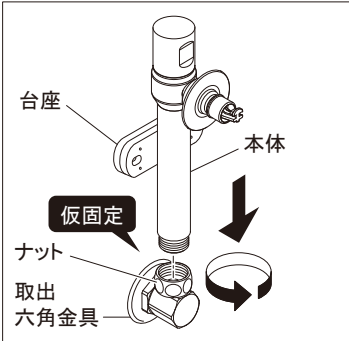


④ 締付け終わったらネジフランジを回して壁に密着させます。
⑤ 取付ナットにノンアスベストパッキンを入れます。

注意

- 取出六角金具を取付ける際、逆(反時計回り)方向にまわしてゆるめると漏水の原因となります。もしもゆるめてしまった場合は、もう一度 **施工方法** 1.取出六角金具を壁に取付けます。の最初からやり直してください。
- ノンアスベストパッキンの入れ忘れにご注意ください。漏水の原因となります。

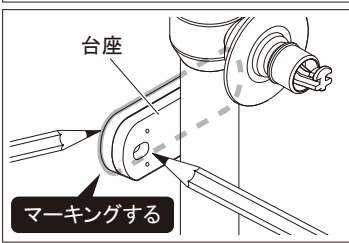
2. サドルバンドの取付位置を確認します。



① 台座を壁面に当て、壁面と本体で台座をはさむようにして、本体を取出六角金具に差込み、ナットを締めて仮固定します。

注意

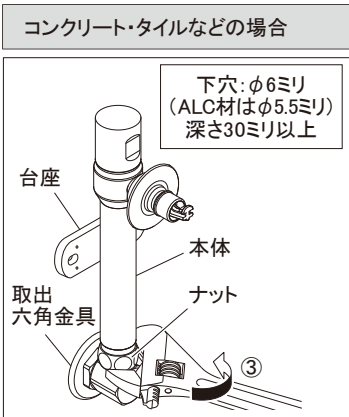
* 必要な台座の枚数は、壁面と本体の位置に合わせて1〜3枚で調節してください。



② 台座の枚数と位置を確認後、台座とビスの取付位置を鉛筆などでマーキングします。

3. サドルバンドと本体を壁に固定します。

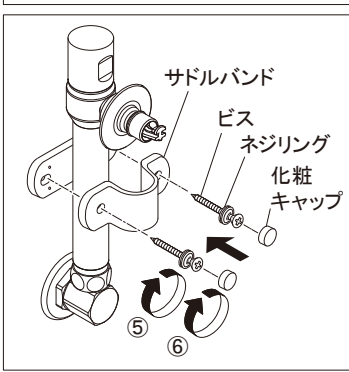
コンクリート・タイルなどの場合



① 本体と台座をいったん取外し、マーキングしたビスの取付位置に下穴をあけます。
* 下穴は深さは30ミリ以上、コンクリート材の場合はφ6ミリ、ALC材の場合はφ5.5ミリあけます。
② 下穴にプラグを差込み、壁からはみ出さない程度に軽くたたいて埋込みます。
③ マーキングした取付位置に台座を合わせ、壁面と本体で台座をはさむようにして、本体を取出六角金具に差込み、ナットを「モンキーレンチ」などでしっかりと締付けます。

注意

取出六角金具のナット内にノンアスベストパッキンが入っていることをご確認ください。入れ忘れると漏水の原因となります。



④ ネジリングの面取りをしている側をビス頭側にしてビスに通します。

⑤ 台座の位置にサドルバンドを合わせ、ビスを取付け固定します。
⑥ ネジリングに化粧キャップを取付けます。

木製の場合

上記「コンクリート・タイルなどの場合」の手順、③～⑥を行います。

4. 給水ホースを接続します。

使用方法 給水ホースの着脱方法 を参考にして、給水ホースを接続します。

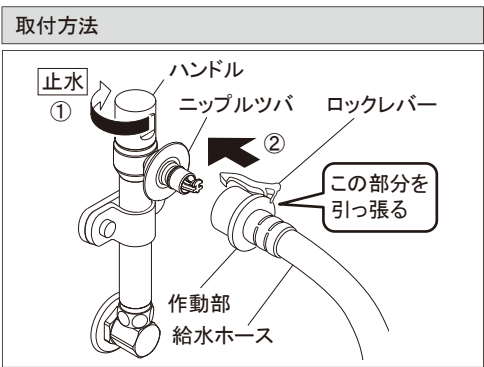
施工後の確認

- ① 元栓を開き、各部に漏水がないか確認します。漏水が発見された場合は、元栓を閉じ、漏水する箇所を施工し直してください。
- ② ハンドルを開き、吐水状態を確認します。

使用方法

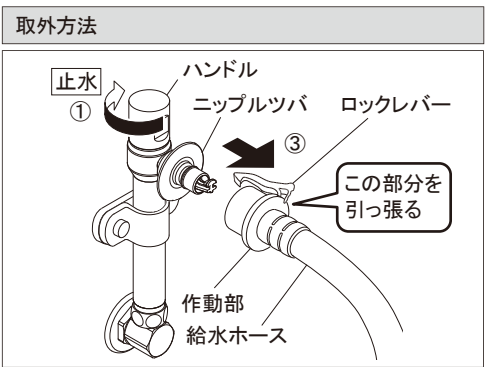
給水ホースの着脱方法

取付方法



① ハンドルを閉じて止水します。
② 給水ホースの作動部を引っ張りながら、ニップルに「カチッ」となるまで差込みます。
③ ロックレバーがニップルツバに掛かっていることを確認します。

取外方法



① ハンドルを閉じて止水します。
② ロックレバーを吐水口のニップルツバから外します。
③ 給水ホースの作動部を引っ張りながら取外します。

使用方法(つづき)

給水ホースの着脱方法(つづき)

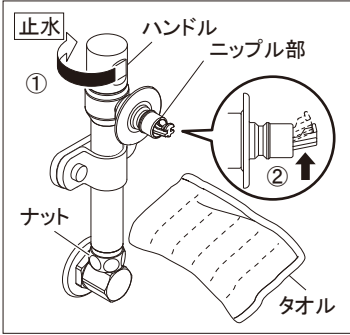
注意

- 給水ホースは「カチッ」となるまで差込んでください。
- 給水ホースは急な角度に曲がらないように設置してください。吐水不良となり、十分な流量が得られない場合があります。
- 給水ホースは必ずハンドルで止水してから取外してください。漏水により、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

自動閉止機構について

万が一通水中に洗濯機用給水ホースが外れた場合、吐水口に内蔵された自動閉止機構が作動し、水が漏れない構造になっています。
再度、洗濯機用給水ホースを接続する場合は「●自動閉止機構の解除方法」に従って解除してください。また、洗濯機用給水ホースを接続せずに水栓のハンドルを開いた場合にも同様の作業を行ってください。
* 自動閉止機構内蔵のため、洗濯機用給水ホースを接続しないと通水されません。

●自動閉止機構の解除方法



① ハンドルを閉じて止水します。
② タオルなどを添えてシャフト部を矢印の方向に強く押し、圧力が抜けるまで傾けます。圧力が抜けると少量の水が出ます。

注意

吐水口内に溜まった水がこぼれるため、タオル等をご用意のうえ、周囲のものを濡らさないようご注意ください。

③ 洗濯機用給水ホースを **使用方法** 給水ホースの着脱方法 に従って取付けてください。

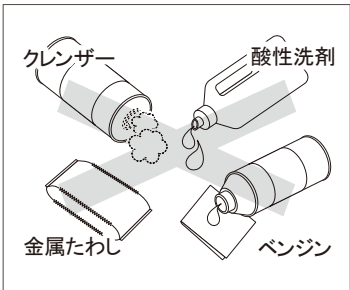
上記手順で解除できない場合は、以下の手順で解除してください。

- ① 元栓を閉じてから、水栓のハンドルを開きます。
- ② 取出六角金具のナットを「モンキーレンチ」などでゆるめ、完全に圧力を逃がします。
- ③ 再度 **使用方法** 給水ホースの着脱方法 に従って取付けてください。

注意

- ナットをゆるめる際は、必ず元栓を閉めてください。漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 作業中は他の箇所がゆるまないようにご注意ください。
- 定期的に本品および給水ホースの接続部などに漏水がないかをご確認ください。

お手入れ方法



● 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
● 水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いたやわらかい布でお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってください。

注意

金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。

こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に動かない時は、修理を依頼される前に、 **分解図** を参考に下記の要領で点検してください。

現 象		原 因	対 処
吐水不良	吐水量が少ない	元栓の閉じすぎ	元栓を調節する
	全く吐水しない	自動閉止機構が作動している 元栓が閉じている	「●自動閉止機構の解除方法」をご参照のうえ、解除してからホースを取付ける 適正水量になるまで元栓を開く
止水不良	止水できない	上部の異常	上部を交換する
	洗濯機用給水ホースとの接続部から漏水	洗濯機用給水ホースが正しく取付けられていない	「●自動閉止機構の解除方法」をご参照のうえ、ホースを取付ける
洗濯機用給水ホースが取付けられない		自動閉止機構が作動している	「●自動閉止機構の解除方法」をご参照のうえ、解除してからホースを取付ける
		洗濯機用給水ホースが規格に適合していない	一般社団法人 日本電機工業会規格(JEM1206)に準拠した洗濯機用給水ホースを使用する

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。